

# いわき 農林水産 ニュース

ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま

令和7年 4月号

vol.242

発行日

2025/4/25

- 01 所長3人の新年度あいさつ
- 03 各種取組の実績（3～4月分）
- 05 お知らせ
  - 05 ふくしま地域資源活用・地域連携サポートセンターの紹介
  - 05 6次化商品紹介
  - 06 高校生発！Iwaki ならではのグルメレシピ紹介
  - 07 いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果
  - 07 いわき地方の出荷制限等品目
  - 07 山菜等の出荷制限について
  - 08 食品表示について
  - 08 転入者一覧
  - 09 新規採用職員からひとこと
  - 10 あとがき

## 所長3人のあいさつ

### いわき農林事務所長

昨年度に引き続きいわき農林事務所長を務めます、上野 徳夫（うえの のりお）と申します。いわき地方の農林業者の皆さまをはじめ、関係機関・団体の皆さまにおかれましては、日頃より地域の農林業振興にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

県では、福島県農林水産業振興計画を策定し、ふくしまの農林水産業・農山漁村の目指す姿として「『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村」を掲げております。当所では「東日本大震災及び原子力災害からの復興」「持続的な発展を支える生活基盤の整備と担い手の確保」「地域の特性をいかした安全・安心な農林水産物の提供」「地域の特性をいかした農山漁村の形成」の4つの振興方向を目指し、各種事業に取り組むこととしております。

さて、令和5年度に策定した「いわき・ねぎならではプラン」により、これまでマーケティング調査による消費者ニーズの把握と、品種比較試験を実施してきました。また、令和7年2月に、いわき長ねぎ選別調製施設が完成し、今後出荷作業の効率化が進む見込みです。いわき農林事務所としては、消費者のニーズに合わせた品質のねぎの生産振興によるブランド力強化と、基盤整備実施地区における高収益作物としてのねぎの作付け推進による産地の維持・拡大を進めてまいります。

その他にも、日照時間が長く、冬でも温暖な気候という強みを活かした「いちご」「トマト」などの園芸品目の生産拡大、「栽培きのこ」の生産振興、いわき市やJAと連携した担い手の確保、6次化商品の開発、農地集積に向けたほ場整備や農林道の着実な整備、流域における浸水被害の軽減を図る「流域治水プロジェクト」に基づく「田んぼダム」や「森林整備」など、様々な取組を進めてまいります。

また、持続可能な森林・林業の実現に向けて、素材生産量の拡大や主伐・再造林を推進してまいります。

結びに、「『サンシャインいわき』笑顔あふれる農林水産業の未来を目指して」のキャッチフレーズのもと、関係機関と連携を図りながら、職員一同、現場主義を貫き取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





## 水産事務所長

昨年度に引き続き水産事務所長を務めます、佐久間 徹（さくま とおる）と申します。

さて、福島県の沿岸漁業は、令和3年度より本格操業へ向けた移行期間となり、水産業界関係者が、がんばる漁業復興支援事業や資源管理、県産水産物の販路拡大などに積極的に取り組んでいるところであります。こうした状況の中、令和5年度の本県沿岸漁業への新規就業者数は26人と東日本大震災以降最多になるなど明るい話題も着実に増えてきております。

令和6年沿岸漁業の水揚量は、気候変動に伴う新たな魚種が増えた一方、沿岸漁業の主力魚種のシラス等の水揚げが伸び悩んだこともあり、水揚量6,640トン、前年比99.9%に止まりました。

水産事務所では、これまでに引き続き、水産業界の復興に向け、県産水産物の安全性、「常磐もの」の魅力に関する情報を発信するとともに、生産・販路拡大の取組や、漁業担い手の確保、漁協の運営等を支援するなど、生産から流通、消費に至る総合的な対策を推進してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



## 水産海洋研究センター所長

4月1日付けで水産海洋研究センター所長に着任しました、山廻邊 昭文（やまのべ あきぶみ）です。当センター勤務は9年ぶり3回目です。離れている間に建替えられた庁舎で、新たなメンバーと、日々、新鮮な気持ちで勤務しています。

一昨年に開始されたALPS処理水の海洋放出による水産業界への影響は目立ったものではなく、水揚量の増大が望まれています。一方、海洋環境変動に伴う漁業資源の変化等への対応が必要となっています。漁獲物調査、調査船による環境・資源調査等による成果の迅速な発信や、ICT技術の活用支援などにより、水産業界を盛り上げていけるよう職員一同取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。





**いわき農業青年クラブ連絡協議会第57回年次総会 3月17日(月)**

いわき農業青年クラブ連絡協議会第57回総会が、3月17日(月)に、県いわき合同庁舎で開催されました。本クラブでは令和6年度に、茨城県への視察研修、市民農園(ふれあい農園)の運営、幼稚園児や小学生への食育活動や会員の農産物の直売会などの交流活動を実施しており、これらの決算報告がなされました。

また、令和7年度については、前年同様に交流活動を含む事業を行うことが承認されました。役員改選では、令和6年度から引き続き根本大我氏が会長を務めることとなりました。なお、令和7年度から「次世代ファーム 高の米(代表 高木利記氏)」が新規会員として加入され、正会員と賛助会員合わせて16名で活動することとなりました。当所では、令和7年度も本クラブや若手農業者の活動を引き続き支援していきます。

(農業振興普及部)



▲ いわき農業青年クラブ連絡協議会第57回年次総会の様子



▲ 新規会員の高木利記氏

**令和6年度福島県指導農業士会いわき支部総会 3月18日(火)**

令和6年度福島県指導農業士会いわき支部総会が3月18日(火)に、県いわき合同庁舎で開催されました。指導農業士とは、優れた農業経営を行いつつ新規就農者等の育成に指導的役割を果たしている農業者で、知事が認定しております。今回の総会には、令和6年度に福島県指導農業士の認定を受けた常磐白鳥町の小泉昌男氏が新たに参加されました。いわき支部は、関係機関と連携し就農希望者の研修受け入れや、国や県の研修に参加し自らの経営能力を向上させ、各種会議等の委員として参画する等の活動をしております。総会では、次年度もこれらの活動を継続していくことが承認されました。なお、役員改選があり、支部長が夏井の箱崎寿正氏から、山田町の(株)坂本農園代表の坂本和徳氏になりました。坂本氏からは、一層の地域農業の発展、新規就農者の育成に取り組んでいきたいとの抱負が述べられました。

(農業振興普及部)



▲ 福島県指導農業士会いわき支部総会の様子 - 3 -



▲ 指導農業士新支部長 坂本和徳氏

## 森林保全巡視員辞令交付式 4月1日(火)

令和7年度福島県森林保全巡視員辞令交付式を県いわき合同庁舎で開催し、いわき管内の森林保全巡視員9名に対し辞令を交付しました。

交付式の後、いわき地方森林パトロール協議会を開催し、巡視活動を円滑に進められるよう、連絡体制の確認やいわき市など関係機関との意見交換を行いました。

9名の森林保全巡視員には、今後1年間、各担当方部の保安林や県営林の巡視活動を担っていただきます。  
(森林林業部)



### Topic

## 3月の漁模様

令和7年3月のいわき地区では主にヒラメ、カレイ類、ヤリイカ等の魚種が底びき網漁業で水揚げされました。また、船びき網漁業では春告魚と呼ばれるサヨリの水揚げがあり、浜の賑わいとなっていました。

(水産事務所)



▲ 底びき網で水揚げされたヒラメ



▲ 船びき網で水揚げされたサヨリ

## ふくしま地域資源活用・地域連携サポートセンターの紹介

県では、いわき市内の地域産業6次産業化に取り組む農林漁業者及び食品加工等事業者の支援体制の充実を図るため、いわき農林事務所内に「ふくしま地域資源活用・地域連携サポートセンター（ふくしま地域産業6次化サポートセンター）いわき事務所」を設置しています。

令和7年3月より、佐藤源治さんが「企画推進員」として、ビジネスマッチング（同業種間の交流、関連異業種の紹介）や相談、専門家派遣、6次産業化に関する助成事業などの支援業務を行っております。6次産業化に取り組みたい、または、既に取り組んでいる事業者の皆さまのお悩みを、ぜひご相談ください。

■ **設置場所** 県いわき合同庁舎3階 いわき農林事務所企画部内  
(いわき市平字梅本 15 番地)

■ **電話** 080-9250-2109

■ **受付時間** 8:30～17:15（平日のみ）

### ●佐藤企画推進員より●

ふくしま地域産業6次化サポートセンターは、農工商連携を目指した事業所様の一層のご支援と身近な存在となれるよう、今年度も努力を惜しむことなく活動してまいります。

私佐藤も、いわき地区の事業所様と今まで以上にひびきを交え、問題解決への一歩となれるよう取り組んでまいります。6次化商品に関係する事だけでなく、新しい事業、商品開発の取組時の足元の光となれるよう邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



▲ 佐藤企画推進員

## 6次化商品の紹介

### 福島県いわき農林事務所

こだわりと美味しさが詰まったいわき自慢の6次化商品を紹介します！

いわき商工会議所といわき観光まちづくりビューローが企画した「いわきの新名物開発支援プロジェクト」にて、(有)長久保食品の「いわきの採れたて野菜！ しあわせの美人ピクルス『ぶるぶるとまと』『とろーりき』」が開発されました。

このピクルスは米酢・醤油・出汁で漬けられおり、和風の味付けに仕上げているのが特徴です。トマトは「フラガール」を使用し、米酢の甘みと出汁のうま味がギュッと凝縮されています。また、キノコはなめこ、シイタケ、エリンギを使用し、コリコリした食感が良く、おつまみやサラダなどのアレンジにピッタリです。

長久保食品はいわきの地物を地域外へ広めることを意識し、オンラインショップ等にも力を入れていきます。お土産やギフト用商品もあるので、是非、贈り物としてもご活用ください。

ぶるぶるとまと 1袋(150g) 864円(税込)

とろーりきこ 1袋(150g) 864円(税込)

取扱店舗  
長久保のしそ巻本舗鹿島店 など

販売元・お問い合わせ

有限会社 長久保食品

📍福島県いわき市好間町中好間字鍛冶内28-2

サンシャインいわき！笑顔あふれる農林業をめざして！！

🔍



〈情報提供〉

福島県いわき農林事務所

📍いわき市平字梅本15番地(福島県いわき合同庁舎3F)  
☎0246-24-6197 📠0246-24-6196  
✉kikaku.af07@pref.fukushima.lg.jp

## 第2回 高校生発！ Iwaki ならではのグルメをつくろう レシピ紹介

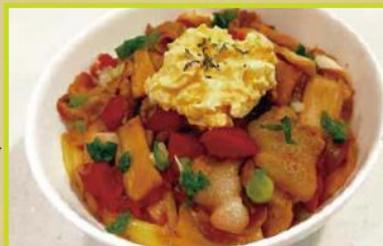
地元農産物の魅力を発信するため、市内の高校生と飲食店等が共同でいわきならではのグルメを開発する、「高校生発！ Iwaki ならではのグルメをつくろう」。

今回は応募のあった中から、照りトマ丼のレシピをご紹介します！

全食材部門  
おすすめ  
レシピ  
献マルト

### いわき食材のおいしさ満載 !! 照りトマ丼





神原 帆香さん  
福島県立磐城桜が丘高等学校 3年

調理時間：30分  
食材費(2人分相当)：500円

#### 材料

〈照り焼き〉  
 トマト …………… 1個  
 長ネギ …………… 1本  
 エリンギ …………… 1本  
 豚バラ肉 …………… 130g  
 〔A〕  
 みりん …………… 大さじ2  
 しょうゆ …………… 大さじ2  
 砂糖 …………… 大さじ1  
 酒 …………… 大さじ2  
 サラダ油 …………… 大さじ1  
 〈たままヨ〉  
 卵 …………… 1個  
 〔B〕  
 マヨネーズ …………… 大さじ1  
 塩こしょう …………… 少々  
 ご飯 (Iwaki Laiki) …………… 400g  
 乾燥パジル …………… 適量

#### 作り方

【照り焼き】  
 ① トマトは2～3cmの角切り、長ネギは斜め薄切り、豚バラ肉は3～4cmに切る。エリンギは2～3等分に切り、縦半分にし、切り口を下にして薄切りにする。  
 ② 熱したフライパンにサラダ油をひき、豚バラ肉に火が通るまで炒める。  
 ③ 長ネギ、エリンギを加えて、焼き色がつくまで炒め、トマトを加えてさらに炒める。  
 ④ (A)を加え、味がなじむように炒める。|  
 【たままヨ】  
 ⑤ 沸騰した湯(分量外)に卵を入れ、7分茹でる。  
 ⑥ ⑤を冷水にとり、冷ましながらかをむく。  
 ⑦ ボウルに⑥と(B)を入れ、卵をつぶしながらよく混ぜる。  
 ⑧ 器にご飯を盛り、④を乗せ、その上に⑦を乗せる。  
 ⑨ 最後に乾燥パジルをふり、完成。

#### 作品のPRポイント

子どもから大人まで、幅広い年代の方に食べていただきたいです。仕事・学業などで忙しい方や、頑張った自分へのご褒美にもおすすめの一品です。  
 味付けは、キムチやコチュジャンを使用するか迷いましたが、辛いものが苦手な方でもおいしくいただけるものにしたと  
 考え、照り焼きにしました。さらに、ネギやエリンギの食感を残しつつ、トマト本来の甘み・酸味が引き立つよう、炒め方を工夫  
 しました。たままヨと一緒に食べることで、また違った味わいが楽しめます。

### 【レシピを参考に作ってみました】

トマトの甘みと酸味に、ねぎのシャキシャキ感が合わさってご飯がすすみました。作り方もシンプルなため、料理があまり得意ではない私でも簡単に作る事ができたので、皆様も是非作ってみてください。(担当 T. H)



レシピ集はこちら！





## いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果(令和7年3月分)

令和7年3月の農林畜産物モニタリングでは、4品目6検体を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。

内訳は(表1)のとおりです。

(表1) 品目と検体数

ふきのとう(野生) 1、原木しいたけ(露地) 1、牛肉 3、原乳 1

## いわき地方の出荷制限等品目

令和7年3月末現在、いわき地方の農林畜水産物のうち、出荷制限等の対象となっている品目は(表2)のとおりです。

出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値(100Bq/kg)以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。

(表2) 農林畜水産物の出荷制限等品目(令和7年3月末日現在)

制限、自粛	区分	品目
出荷制限	山菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ(野生のものに限る)、わらび(野生のものに限る)※1、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ(露地)、野生きのこ※2
自粛	山菜	さんしょう(野生のものに限る)

※1 わらび(栽培)で出荷・販売できるものは、安全性が確認されたほ場で生産されたものに限り、(市内該当生産者20名のみ)

※2 野生きのこは、摂取も制限されています。

**注意!**

## 山菜等の出荷制限について

### 1 出荷制限について

現在、いわき市産の山菜のうち、出荷が制限等されている品目は上記(表2)のとおりです。これらの品目は地域全体としての安全性が確認されていないことから、出荷制限等は今シーズンも継続しています。そのため、

- 団体や個人においての自主検査により基準値(100Bq/kg)以下であっても出荷や販売等できません。
- 無償の譲渡や、インターネット(フリマアプリ等)による個人売買も出荷に該当するため、できません。
- 出荷・販売だけでなく、飲食店や宿泊施設等での提供や加工用原材料としても使用できません。

なお、出荷制限等品目は市町村ごとに定められていますので、他の市町村の状況は県HP「ふくしま復興ステーション」(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/mon-kekka.html>)で確認してください。

### 2 出荷制限等品目以外の山菜について

県において緊急時環境放射線モニタリング検査を実施しており、今シーズンのモニタリング検査結果を確認のうえ出荷・販売するようお願いいたします。モニタリング検査の結果は、新聞や県ホームページ「ふくしま復興ステーション」で公表されます。(森林林業部)



## 食品表示のあれこれ ①第38次食品表示基準改正について

令和7年3月28日付けで食品表示基準が改正されました。今回は、改正された内容のうち、栄養強化目的で使用された食品添加物の表示義務免除規定の削除について解説します。

### 1 添加物の役割

食品添加物の役割をおおまかに分類すると以下のようになります。

目的	主な例
食品の風味や外観をよくするもの	甘味料、着色料、調味料等
食品の保存性を高めるもの	保存料、酸化防止剤、防かび剤等
食品の製造や加工に必要なもの	消泡剤、ろ過助剤等
食品の栄養成分を強化するもの (栄養強化剤)	ビタミン類、ミネラル類、アミノ酸類

**表示義務の免除（旧規定）**  
 栄養強化目的で使用した添加物については表示義務が免除されていた（食品表示基準別表第4で個別に表示義務を定めた食品を除く）。



### 2 改正内容（R7.3.28～）

上記のうち、食品の栄養成分を強化するもの（栄養強化剤）について、表示義務の免除規定がなくなり、全ての食品において表示が必要になりました。従って、添加物の表示義務の免除は下表のいずれかに限られます。

なお、事業者の表示切り替えのため、5年間（R12.3.31まで）の経過措置期間が設けられています。添加物の表示方法等について詳しくは、いわき市保健所生活衛生課（0246-27-8593）へお問い合わせください。

食品添加物の表示が免除される場合の例（改正後）	
加工助剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の完成前に除去されるもの</li> <li>・最終的に食品に通常含まれる成分と同じになり、その分量を増加させないもの</li> <li>・最終製品にごく微量しか存在せず、食品に影響を及ぼさないもの</li> </ul>
キャリアオーバー	加工食品の原材料の製造（加工）過程においてのみ使用され、最終製品には、その添加物の効果が発揮されない量しか含まれないもの

（企画部）

## 転入者一覧

〈いわき農林事務所〉

部 名	職 名	氏 名
総務部	次長（兼）総務部長	橋本
	主査	佐藤
	主事	佐藤
企画部	部長	金成
	地域農林企画課長	佐藤
	副主査	星野
	主事	須賀
農業振興普及部	部長	荻野
	副部長	鈴木
	副主査	鈴木
	主事	菊地
	技師	鈴木

部 署	役 職	氏 名
農村整備部	技師	渡辺
	技師	松本
	技師	梅津
	専門員	宮島
森林林業部	森林土木課主任主査	北條
	主査	富程
	主査	大沼
	技師	安積

〈水産事務所〉

部 署	役 職	氏 名
総務課	主事	日西
	主事	石井
漁業振興課	主事	新妻
	副主査 （相馬市駐在）	森口
	主査兼一等航海士 （いわき市駐在）	佐藤
	技師兼一等機関士 （いわき市駐在）	央戸

〈水産海洋研究センター〉

部 署	役 職	氏 名
	所長	山廻邊
事務部	主事	菊地
海洋漁業部	主任研究員	新関
放射能研究部	研究員	高橋
いわき丸	主査兼一等航海士	園谷
	主査兼一等機関士	佐々木



## 新規採用職員から一言

### 農林事務所 総務部

#### 総務課 佐藤主事

総務部に配属になりました佐藤です。県職員として、最初に馴染みのある地元であるいわき市で働けることを嬉しく思います。技術職の皆様と違い、直接農林の現場で働く機会はないのですが、事務職として、職員の方々にサポートするべく励んでいきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

### 農林事務所 農業振興普及部

#### 農業振興課 菊地主事

農業振興普及部に配属となりました菊地です。いわき市での生活は初めてですが、日々新しい発見がありとても満足した生活を送れています。

一日でも早く力になれるよう、全力で業務に取り組む所存です。よろしくお願いいたします。

### 農林事務所 農業振興普及部

#### 経営支援課 鈴木副主査

このたび、農業振興普及部に配属となりました鈴木です。普及業務は初めての経験となりますが、地域の皆さまとしっかりと対話を重ねながら、少しでも早く産地の力になれるよう全力で取り組んでまいります。

私は会津出身で、今年から初めていわきでの生活をスタートしました。仕事だけでなく、プライベートでもいわきの魅力をたくさん味わいながら、地域に根ざした活動をしていきたいと考えております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

### 農林事務所 農業振興普及部

#### 経営支援課 鈴木技師

農業振興普及部に配属となりました鈴木です。3月までは伊達市に住んでいたため、いわき配属になって驚いています。

地名や道が覚えられていないので、休日に市内をドライブしてみようと思っています。仕事のほうもわからないことだらけなので、先輩方から学んでいち早く福島県に貢献できるようになりたいです。よろしくお願いいたします。

### 農林事務所 農村整備部

#### 農村整備課 梅津技師

農村整備部に配属になりました梅津です。福島市出身で、昨年度までは秋田県に住んでおりました。いわき市は晴れの日が多く、暖かいのでとても過ごしやすい場所だと感じております。

慣れないことも多いですが、いち早く仕事を覚えて皆様のお役に立てるよう精一杯励んで参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

### 農林事務所 森林林業部

#### 森林土木課 安積技師

このたび森林林業部に配属されました安積です。出身は伊達市でいわき市にはあまり来たことがなく、小名浜などの海のイメージを持っていました。伊達市と違い、雪が降らず暖かいということで冬が楽しみです。

いわき市は面積が広く、山が多いため林業の仕事もたくさんあるということで、先輩方のお力をお借りしながら、皆様に貢献できるように努力していきます。よろしくお願いいたします。

### 水産事務所

#### 総務課 石井主事

このたび水産事務所に配属となりました石井です。私は福島市出身でいわき市の生活は初めてですが、気候も穏やかで過ごしやすいと聞いています。

業務は初めてのことが多く、日々学びながらではございますが、多くのことを吸収しながら、福島県や皆様に貢献できるよう励んでまいります。よろしくお願いいたします。

### 水産事務所

#### 漁業振興課 新妻主事

水産事務所に配属となりました新妻です。福島県福島市出身です。

いわきは過ごしやすいいところなので、配属されてよかったと思います。よろしくお願いいたします。

### 水産海洋研究センター

#### 事務部 菊地主事

このたび水産海洋研究センターに配属となりました菊地と申します。田村市出身で、地元と比べていわき市は商業施設や飲食店が多く、気候も暖かいので快適な生活を送れています。

わからないことだらけの日々ですが先輩方から学び、一日でも早く仕事を覚えて福島県に貢献できるよう全力で取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。

今月号に掲載した場所はこちら！

- ① いわき市植田町南町2丁目2-12  
次世代ファーム 高の米
- ② いわき市山田町社岡7  
(株)坂本農園
- ③ いわき市好間町中好間鍛冶内28-2  
(有)長久保食品

いわき市  
MAP



あとがき

だんだんと暖かく春らしい季節となってきました。  
 いわき農林事務所では新たなメンバーを迎え、新年度が始まりました。  
 世の中の先行きが不安定な状況が続いておりますが、当所ができることに全力で取り組んでまいります。  
 今年度もいわき農林水産ニュースでは、いわきの農林水産業に関する情報を幅広くお伝えしてまいります。よろしくお願いたします！ (担当 T.H)

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。  
 福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課  
 〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地  
 (県いわき合同庁舎 3階)  
 T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196  
 U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース